

おじゃまします



=コスプレ館 オープン=

NPO 法人栄町観光協会

成田空港に近い立地を生かし、5月3日、栄町龍角寺のドラムの里に「コスプレの館」の新館がオープンしました。

隣の体験博物館「県立房総のむら」は江戸から明治の町並みが再現され、多くのコスプレヤーが訪れています。栄町では地域おこしにつなげるために2015年にドラムの里交流室に旧館を作ったが、利用度も高く、団体を断る状況も出てきたので、今回新館を作ることになりました。

新館は2階建てで旧館の2倍の広さ。一度に15人まで着替えることができ、シャワーもある。衣装は20種類300着。料金は最大3時間で500円から6000円です。館内は折り紙やかぶと、着物のディスプレイがされています。着付けスタッフは5人。「新しくなったので一層身を引き締めてやっています。房総のむらに近く、通りがかりで良く見える場所で、立ち寄り方が増えました。忍者や子どもはいからさん、侍や新撰組、武家娘などが人気です。」と話してくれました。

運営するNPO法人栄町観光協会の大久保理事長は「外国の方に日本の良さを伝えたい。和の発信の場としてコスプレだけではなくお茶やお花、お琴、折り紙など日本の文化も伝えていきたい。年2400人の利用が目標です。」と話されました。国際観光拠点として世界中の人が集う場所になることを期待します。

NPO 法人栄町観光協会 大久保さんへのお問い合わせは 0476-89-0376



忍者になろう！



折り紙手裏剣



立派なコスプレ館

知ってる？ 栄町

みそ岩屋古墳(龍角寺106号墳)

みそ岩屋古墳って知っていますか。

栄町の龍伝説龍角寺の七不思議のひとつ、三ヶの岩屋で語られているのが岩屋古墳とみそ岩屋古墳です。岩屋古墳の北方、ドラムの里「龍の市庭」の道路を挟んだところにあります。一辺約35m、高さ4,7mの3段築成の方墳。規模は小さいが、3段築成で切石積横穴式石室など、岩屋古墳と共通する部分が多く、後続する墳墓と考えられています。岩屋古墳に比べると玄室（横穴式石室）が幅広く、使用された石材がやや大きいのが特徴です。7世紀後半に築かれたとされています。みその意味は諸説ありますが小さいという意味かと思われます。

昭和51年に早稲田大学考古学研究会が初めて調査を行い、今年度、同大学院で石室内の3次元計測調査を行いました。今までの歴史の部分がデジタル化することでプラスαの新しいものが見えるかもしれません。

みそ岩屋古墳の見学は自由ですが、石室内の立入はできません。



調査中

